

授業科目名 (英訳)	人体構造学 Human Anatomy					担当者所属 職名・氏名	医学研究科 教授 萩原 正敏 医学研究科 教授 山田 重人				
配当学年	2・3 回生	単位数	2	開講年度 開講期	H27 前期	曜時限	水/1	授業形態	講義	使用言語	日本語 英語
[授業の概要・目的]											
人体解剖学の基本的な知識を概括的に講義するとともに、実際にご遺体に触れさせ、ともすれば観念的になりがちな人間存在を、死すべきものとして客観的に観察させる。											
[到達目標]											
人体の構造を系統的に学ぶことで、自らの依って立つ物質的基盤を再認識し、その機能と構造の連関を考察する。											
[授業計画と内容]											
【第 1 回】 解剖学序論、解剖学用語概説											
【第 2～3 回】 骨格系											
【第 4 回】 筋系											
【第 5～6 回】 A18 脈管系											
【第 7～8 回】 消化器系											
【第 9 回】 呼吸器系											
【第 10 回】 泌尿器系											
【第 11 回】 生殖器系											
【第 12 回】 内分泌系											
【第 13～14 回】 神経系											
【第 15 回】 感覚器系											
*解剖実習見学について、日時は別途指示する。											
*試験は講義終了後 1～2 週間のうちに行う。											
[履修要件]											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
期末試験・平常点評価（出席状況・毎回確認テスト施行）											
[教科書]											
中山書店 わかりやすい人体の構造と機能 塩田浩平編集											
[参考書等]											
随時必要に応じてテキストを紹介する											
[授業外学習（予習・復習）等]											
教科書と解剖アトラスによる用語の確認											
[その他（オフィスアワー等）]											
人間の生と死を考える縁(よすが)にしてください。 hagiwara.masatoshi.8c@kyoto-u.ac.jp											